

(ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。これは、ブレインバンクへ寄託された検体を疾患研究者に提供することにより行なわれる研究で、当センター倫理委員会の承認を得ています。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 神経変性疾患ヒト脳の病理、タンパク質および遺伝子発現の解析

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部 高尾昌樹

【本研究の目的及び意義】

神経変性疾患の病態については、まだ分かっていないことが多くあります。原因タンパク質の脳内蓄積に先行、あるいは蓄積に伴って、誘導される病態シグナルもその一つです。本研究では、神経変性疾患（ポリグルタミン病、アルツハイマー病、前頭側頭葉変性症、筋萎縮性側索硬化症、タウオパチー、パーキンソン病、汎発性レヴィー小体病、FMRP 関連神経疾患に限定する）における原因遺伝子及び疾患関連遺伝子の RNA およびタンパク質の解析を行うことにより、この病態シグナルを明らかにします。研究の成果が得られれば、分子病態の理解が深まり、シグナル介入による新たな治療法の開発につながります。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2009年04月01日より2021年までに病理解剖を受けられてブレインバンク登録を御遺族が同意された方

利用する試料・情報等

試料：神経変性疾患患者の脳・脊髄（ホルマリン固定、凍結、パラフィン包埋ブロック、電顕用サンプル）

情報等：検体に関する臨床情報、病理所見および診断

研究期間

2021年2月17日から2025年3月31日まで

【共同研究機関】

東京医科歯科大学

研究責任者 岡澤 均（研究代表者）

名古屋大学大学院医学系研究科

祖父江 元

東北大学加齢医学研究所

荒井 啓行

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター一病院

所属 臨床検査部 氏名 高尾昌樹

電話番号:042-341-2711 (代表)

e-mail:yukosm※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)